

1. 開催日時 令和7年7月23日（水）午後1時10分～午後3時10分
2. 開催場所 西都台小学校 2階 研修室
3. 出席委員 田澤健司、池谷智晴、高部信男、横原広明、稲垣正彦、松下正行、吉野好永、八嶋志帆
4. 欠席委員 坂下奈生子、辻村悠介
5. オブザーバー 野嶋俊之（入野協働センター所長）
明戸良美、鈴木都（学校支援コーディネーター）
6. 学 校 小嶋澄華（校長）、山内剛治（教頭）、大木賢志（教務主任）、
山本洋介（CS担当教職員）、和久田里恵（CSディレクター）
7. 教育委員会 山本俊行（教育総務課）
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 CSディレクター 和久田里恵
10. 議長の選出

前回会議にて田澤会長を推薦いただき、会長も了承、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

- （1）前期学校評価の分析と2学期以降の重点について
- （2）学校支援活動について

12. 会議記録

司会の山内から、委員総数の10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）前期学校評価の分析と2学期以降の重点について

議長の指示により、教務から別紙資料に基づき前期学校評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

質問内容の変更、評価のまとめ方についての意見

- 本来、子供に聞いてもよい設問内容に斜線があり、有用なデータを取りこぼしている。設問の見直しをするべき。アンケート結果をパーセンテージで表すのも良いが、そこでは表されない、子供や保護者の少数の意見をもっと大切にすべき。（高部委員）
- 一つの設問に複数の質問を詰め込みすぎていて答えにくいので、設問が増えても一つずつ聞いて答えやすくしたほうが良い。（高部委員・田澤委員）
- 現代の様々な問題（不登校・ジェンダー・家庭教育・子供の権利）について、子供や保護者がどう思っているかアンケートで聞くのもよいと思う。また、◎○△×で答えるだけではなく、自由記入という方法も大事。どんなアンケートを取ってほしいか、子供や保護者から聞くのもいいと思う。（松下委員）
- アンケートを取る時、文章だけだと理解できない子も出てくるのではないかと。（横原委員）
⇒特に低学年は、担任が簡単な言葉で一つ一つ説明しながらアンケートを取っている。（教務）
- 子供は良い評価が多いが、保護者は悪い評価も目立つ。アンケートが全て正しいわけではないのかなと感じた。（八嶋委員）
- 保護者のアンケート結果が一つにまとめられているが、低・中・高学年の保護者と細分化した方が、何かわかることが増えるのではないかと。（横原委員）
⇒皆さんの意見を参考に、子供にも聞くべきことや設問内容について修正していきたい。（教務）

評価結果についての意見

- いじめに関する設問について、悪口を言われたことがあるかというような、具体的な設問があってもいいのではないか。(横原委員)
⇒いじめに関するアンケートについては、毎週、別のアンケートを行い、対応している。(教務)
- 「いじめは許されない」の回答は100%でないといけない。5%でも許されると思っている子がいるのか、どういう判断だったのか、しっかり分析してほしい。(田澤委員・稲垣委員)
- ここ数年の先生のアンケート結果で、「子供の言葉遣いが気になる」という数値が高いことがわかる。このままにせず、どうしたらよいか考えていくべき。(高部委員)
- アンケート結果を見て、主張することが得意ではないのかなと思った。一人でも多く、自分の気持ちを出せるといい。今後、人生を楽しんでいくために、友達と協力していける子に育ててほしい。(池谷委員)

2学期以降、この結果をどう生かしていくかについての意見

- 学級会を生かしてほしい。友達と協力する力が付いてくる。話し合う力や考える力、自分から主張する力も養える。大人しい子も、その子なりの表現を見逃さず、受け止めてあげてほしい。
(池谷委員)
⇒今年度から1学期は学級づくり、学級会に力を入れて取り組んだ。教科の授業以上に、より多くの子が発表・活動したりすることもあった。2学期からの活動に良い影響が出るといい。(教頭)

(2) 学校支援活動について

教頭から、別紙資料に基づき学校支援活動について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- 学校も地域も盛り上がる、お互いにとって良い関係になると良い。環境整備や防災のような、地域づくりにつながる活動もいいと思う。(池谷委員)
- 地域の防災訓練で、AEDの使い方、熱中症対策など消防職員に教えていただく。中学生・高校生が主に活動できると思うが、小学生も高学年くらいから、感じ取ることがあると思う。(横原委員)
- 学校側からの要望と違って、地域側からこんなことをやりたい、こんな特技があるといった人はいるので、人材リストを作っておくと、いつか活用できる時があると思う。(田澤委員・高部委員)
- 学区の歴史や町名のいわれなど、地域の方から教わり、次世代に継承してほしい。(松下委員)
- 昭和61年、PTAを中心に作成した西都台校区の地名や文化財などをまとめた本が入野協働センターに保管してある。地域の歴史について学ぶ材料はたくさんある。(田澤委員)
- 昔は、ふるさとかるたをやりながら、西都台の地名や歴史について学ぶ機会があった。今でもかるた大会や、かるたを真似して書くことをすると、勉強になると思う。(吉野委員・高部委員)
- 入野地区コミュニティ協議会にて、「ふるさと愛称標識マップ」を本年度作成している。入野地区48か所の歴史的ないわれのある場所をまとめてあり、それぞれQRコードを読み取ると、今いる場所からの道を案内してくれる。本年度中にできるため、活用してほしい。(協働センター所長)
- 学校から要望があれば、様々な活動をしている団体を仲介できると思う。(協働センター所長)
- 昼休みの見守りは、毎日のことなのでサポーターだけでは大変だと思う。(明戸学校支援CD)

その他報告事項

(学校支援コーディネーター 明戸さんより)

- 竹っ子サポーターを募集し、メンバーが30名になった。
- 1学期、水泳の授業の見守りを行った。今後は夏休みに公民館にて竹っ子広場開催。志都呂のお祭り、お神楽の歴史についての話を、紹介していただいた地域の方を講師に迎えて2学期以降計画。

司会から、次回会議は、令和7年12月10日(水)午後1時10分から西都台小学校2階研修室で、開催する旨の報告があった。